

平成27年度 ふるさと・水と土保全対策懇話会

日時:平成28年2月26日(金)
午後1時30分から午後3時まで
場所:徳島グランヴィリオホテル 2階「蓬莱」

1 開 会

2 あいさつ

3 議事内容

- 1)ふるさと水と土保全対策事業及びふるさと水と土保全推進事業の概要について
- 2)平成27年度の事業経過について
- 3)平成28年度の事業計画について
- 4)意見交換
- 5)その他

4 閉 会

農林水産基盤整備局 農山漁村振興課

徳島県ふるさと・水と土保全対策懇話会について

開催目的

中山間地域、棚田地域における農地保全や農業・農村の活性化を目的に実施している「ふるさと・水と土保全事業」について、評価や助言をいただき、事業のさらなる拡充、推進を図る。

徳島県ふるさと・水と土保全対策懇話会

評価
意見

評価
意見

中山間ふるさと・水と土保全推進事業 (ふる水基金)

【事業目的】

○中山間地域における土地改良施設及びこれと一体的に保全する事が必要な農地の有する多面的機能を維持

○住民活動による土地改良施設等の保全・利活用により中山間地域を活性化

【事業対象地域】

○過疎地域自立促進特別措置法、山村振興法、離島振興法、半島振興法、特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律において、指定及び規定された地域

※対象市町村：県内16市町村

鳴門市、阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、佐那河内村、神山町勝浦町、上勝町、那賀町、美波町、牟岐町、海陽町、つるぎ町、東みよし町

●調査研究事業

地域住民活動を通じた、土地改良施設や農地の機能の強化・保全に関する基本的対策等の作成及びこれに要する調査

●研修事業

住民活動のリーダーとなる「ふるさと水と土指導員」の育成に寄与する研修の実施・派遣

●推進事業

事業を進めるのに必要な啓発普及活動、広報資料の作成、配布、各種イベントの開催

中山間ふるさと・水と土保全対策事業 (棚田基金)

【事業目的】

○棚田などの多面的機能の良好な保全と都市住民も交えた継続的な地域住民活動の推進

○保全活動を行う集落組織等の育成・支援

【事業対象地域】

自然傾斜を緩和した農地が階段状に分布しており、勾配1/20以上の農地の面積が当該地域の全農地の面積の1/2以上を占める地域

※県内棚田箇所数：75カ所

●保全ネットワーク推進事業

都市住民等の保全活動への参加促進を図るための事業

●保全活動推進事業

住民組織が行う保全活動の推進を図るために実施する事業

●保全活動支援事業

集落協定に基づいて実施される棚田などの保全活動や利活用に対して経費等の助成を行う。

効果

<ふる水基金>

- 地域リーダーを中心とした「個性ある地域づくり」に取り組む体制の整備
- 農業生産等の協働活動を通じて、中山間地域の多面的機能を維持
- 新たなコミュニティ活動の展開による地域の活性化

<棚田基金>

- 地域住民活動の活性化により、都市住民等を巻き込んだ活動参加ネットワークの構築
- 地域住民活動を推進する人材育成による活動の活性化

平成27年度事業経過

1 中山間ふるさと・水と土保全対策事業

事業区分	事業名	事業内容	予算額
			(円)
(1)調査研究事業	ア 中山間むらづくり調査事業	中山間地域の土地改良施設や農地を整備・保全するために必要な基礎調査を行う。	3,108,000
			3,108,000
(2)研修事業	ア ふるさと水と土指導員全国研修派遣	ふるさと水と土基金全国研修会に指導員候補者を派遣し、指導員を育成する。	770,000
	イ ふるさと水と土指導員県内研修	県内研修会を開催し、新たな地域づくりの手法や指導員間の情報交換を実施し指導員を育成する。	335,000
			435,000
(3)推進事業	ア ふるさと水と土保全対策懇話会	保全対策の内容を評価し、その意義を広く県民に対し周知する。	10,950,000
	イ ふるさと水と土指導員活動支援事業	ふるさと水と土指導員が中山間地域において企画・実践する環境保全活動、交流活動等を支援し、土地改良施設や農地等の保全及び農村地域の活性化の推進に資する。	107,000
	ウ 農林漁業体験推進事業	中山間地域の価値を地域住民自ら再認識し、地域資源として活用することで、都市部住民との交流・普及啓発につなげる。	800,000
	エ 獣害に立ち向かう農山村づくりモデル推進事業	鳥獣被害実態調査等にもとづく被害対策指導のほか、現場での技術指導を担う鳥獣被害対策指導員の養成研修を行う。また、鳥獣被害対策の総合的技術対策に取り組むモデル集落を育成する。	773,000
	オ 啓発推進事業	中山間地域の多面的機能を地域住民及び県民に周知し、保全対策の必要性をPRする。	9,000,000
			270,000
合 計			14,828,000

2 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

事業区分	事業名	事業内容	予算額
			(円)
(1)保全ネットワーク推進事業	ア 「とくしまの棚田」情報発信事業	「とくしまの棚田ホームページ」や様々な機会を活用して、県内の棚田地域をはじめとする中山間地域の情報を収集・発信し、県民の関心を高める。 また、中山間地域の農村風景等を題材としたフォトコンテストを開催し、県民の棚田地域等への関心を高めるとともに、次代に伝えるべき中山間地域の景観をデータで収集する。	3,224,000
	イ とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業	地域に社会貢献したいという志を持つ都市部の大学・企業・NPOと協働パートナー協定を結び、農山漁村地域の要請に応じて応援活動を展開する。	677,000
			2,547,000
(2)保全活動推進事業	ア ふるさと水と土指導員活動支援事業	ふるさと水と土指導員が棚田地域等において企画・実践する環境保全活動、交流活動等を推進し、土地改良施設や農地等の保全及び農村地域の活性化の推進に資する。	2,200,000
	イ 棚田の保全に関する調査研究	県内に存在する棚田の現況を調査し、のり面や石積みの崩壊等整備が必要な棚田のとりまとめを行う。	700,000
			1,500,000
合 計			5,424,000

1 中山間ふるさと・水と土保全対策事業

(1)調査研究事業

ア 中山間むらづくり調査事業

- ① 農山村地域には、多様な動植物や田園空間が残されており、これら豊かな自然や環境と共生する農村づくりが求められている。
そこで、環境に配慮した農業農村整備を実施するため、田園環境の保全に必要な環境調査を行った。
- ② 本県の主要河川である吉野川、那賀川は重要な農業水源であるが、水量、水位が安定せず農業用水の取水に不安が生じている。
そこで、かんがい期における農業用水の取水位を把握し、渇水時の対策の資料とするため河床変動（水位観測）調査を行った。



環境調査（生き物調査）
〔芳崎地区〕



魚類同定作業

環境調査（魚類生息環境調査）
〔大代戎野地区〕

◆調査結果及び今後の取組

調査名	地区名	調査結果	今後の取組方針
	地区名		
環境調査	芳崎 (阿南市)	地区内の環境調査（生き物調査）を行い、環境に配慮した工法検討を行った。	事業実施段階において、本調査で得られた知見を適切に実践することで、環境に配慮した土地改良事業の展開に努める。
	大代戎野 (鳴門市)		
	那賀東部 (那賀町)	環境調査（現地踏査）を行い、地区内に生息する生き物の把握を行った。	
河床変動調査	那賀川南岸 (阿南市)	かんがい期における農業用水の取水位を把握することができた。	今後も継続して調査を行い、将来の対策に資する。
	三好南岸 (東みよし町)		

◆次年度の調査計画

調査名	地区名	調査内容
	地区名	
環境調査	那賀東部 (那賀町)	地区内の環境調査（生き物調査）を行い、環境に配慮した工法検討を行う。
	沼田 (美馬市)	
河床変動調査	那賀川南岸 (阿南市)	かんがい期における農業用水の取水位を観測する。
	三好南岸 (東みよし町)	

(2)研修事業

ア ふるさと水と土指導員全国研修会派遣

第21回ふるさと水と土基金全国研修に1名を派遣した。

日 時：平成28年2月1日（月）～2日（火）

場 所：東京都千代田区平河町

「TKPガーデンシティ永田町」

研修概要

- 地域住民活動を進めるための知識・手法
- 地域住民活動に関する事例等情報提供



指導員全国研修への参加

イ ふるさと水と土指導員任命式および研修会（予定）

日 時：平成28年3月17日（木）（予定）
場 所：徳島市内
内 容
（1）新規指導員任命
（2）指導員活動事例発表
（3）意見交換 など



ふるさと水と土指導員任命式及び研修会（H26）

（3）推進事業

ア ふるさと水と土保全対策懇話会

毎年1回開催し、保全対策の内容を評価し、広く県民に周知する。

日 時：平成28年2月26日（金）
場 所：徳島グランヴィリオホテル



ふるさと水と土保全懇話会（H26）

イ ふるさと水と土指導員活動支援事業

ふるさと水と土指導員が土地改良施設や農地の保全活動・農村地域の活性化を図るための交流行事等を実施した場合、その要した経費について上限10万円を補助金として交付した。

事業実施期間 平成27年5月8日から平成28年3月20日

市町村名	地区名	事業内容
吉野川市	美郷（張）	梅の放置園を借り受けての収穫体験や、環境保全を目的とした交流イベントを開催
	美郷（峠）	「高開そばづくり」体験や炭焼き体験による交流活動を実施
	美郷（古井）	薬草による地域の6次産業化の検討材料として、「全国薬草シンポジウム」に参加し、先進な取組み等情報の収集
勝浦町	坂本	耕作放棄地等を活用した農業の体験学習など、都市住民との交流を実施
東みよし町	東山（法市）	集落道の整備や農村舞台の公演など、他地域の人々との協働や交流を実施
つるぎ町	一字（蔭）	地域に存在するシャクナゲ園（ローディーの森）の整備・拡充による農山村の活性化
佐那河内村	大平	農作業や里山散策など、農村体験を通じた都市との交流を実施
神山町	神領（大久保）	地元と都市双方の子供や大人の田舎体験を通じた交流会の実施
那賀町	拝宮	都市住民との協働による、伝統産業の「拝宮和紙原料づくり」の継承と地域活性化
	鮎川	休耕田へコスモスやポピーを作付けすることによる集落の景観保全
牟岐町	川長	地域の景観保全を図るため、休耕田を活用したレンゲやコスモスの植栽、稲作など体験学習の実施
	河内・西又	耕作放棄地を活用したビオトープづくりによる環境整備と、かずら工芸や木工品づくり等体験交流の実施



集落道の整備（東みよし町）



拝宮和紙の原料づくり（那賀）



農業体験（牟岐町）



農業体験（勝浦町）

ウ 農林漁業体験推進事業

四国グリーンツーリズム推進協議会において、キャンペーンによる農林漁業体験施設等のPRや大阪のイベント(森林の市)へ出展し、グリーンツーリズム体験コーナーの設置やPRパネル展示をするなど、グリーンツーリズムを推進した。

①「水都おおさか森林の市」への出展

日時:平成27年10月4日(日)

場所:大阪市「桜之宮公園」

②4県連携キャンペーン「思いっきり四国! 88癒やしの旅。」

期間:平成27年7月18日(日)～平成28年1月17日(日)

内容:施設利用者88名に特産品をプレゼント

応募者数:1,194人

県内施設の応募者数:14施設, 164人

主な来県者:東京都, 愛知県, 大阪府, 兵庫県など

【今後の取組】

- ・「広域周遊観光ルート」と連携したインバウンド取込み施策(身振り会話, SNS発信講習等)
- ・高速道路サービスエリアでの情報発信等
- ・平成29年度デスティネーションキャンペーンと併せたイベント, キャンペーンの実施



「森林の市」でのグリーンツーリズム体験コーナー(大阪市)

農林漁家民宿の登録状況(累計)

年度	登録実績(累計)
平成19年度	0戸
平成20年度	5戸(5戸)
平成21年度	1戸(6戸)
平成22年度	2戸(8戸)
平成23年度	7戸(15戸)
平成24年度	2戸(17戸)
平成25年度	13戸(30戸)
平成26年度	3戸(33戸)
平成27年度	6戸(39戸)



農家民宿の状況と体験

エ 鳥獣被害予防対策等推進事業

鳥獣被害の軽減を図るため、「鳥獣被害対策強化月間」を設置し、地域の実情に応じた被害防止対策を集中的に実施するとともに、予防的な鳥獣被害対策を実施するモデル集落の育成、モンキードッグの導入支援等を行った。

【取組内容】

①「鳥獣被害対策強化月間」の重点的な対策の実施

- ・県:講習会、啓発資材(ポスター、幟)の作成
- ・市町村(11市町村)
 - 侵入防止柵の点検・メンテナンス
 - 放任果樹の伐採など餌場をなくす集落環境整備
 - パンフレット配布による被害防止対策の周知
 - 狩猟者の技術の向上のためな猟研修会 等

②モデル集落の育成 3市町 5地区

徳島市(一宮町谷又地区、入田町天ノ原地区)
那賀町(木頭出原地区)
美波町(木岐北白浜地区、山河内かんば地区)

③モンキードッグの導入支援 3市町 5頭導入

三好市(1頭:井川町井内東地区)
神山町(2頭:上分地区、下分地区)
東みよし町(2頭:水の丸地区、西庄加茂山地区)
H24:1頭 H25:6頭 H26:5頭 H27:5頭
計17頭

【平成28年度の取組み】

- ・鳥獣被害対策強化月間の取組み強化
- ・鳥獣被害地図情報システムを活用した総合対策モデル集落の育成
- ・モンキードッグの導入支援



侵入防止柵の点検・メンテナンス
(強化月間の取組み)



くわりの技術向上研修会
(強化月間の取組み)



緩衝帯の整備(柵周辺の刈り払い)
(モデル集落の育成)



モンキードッグの導入

野生鳥獣による農作物被害の推移

年度	被害状況(面積:金額)	
平成21年度	78.2ha	102,351千円
平成22年度	102.4ha	155,905千円
平成23年度	78.4ha	128,733千円
平成24年度	84.3ha	131,880千円
平成25年度	70.6ha	119,112千円
平成26年度	71.0ha	113,451千円
平成27年度	—	—

1の(3)のイのとおり。

平成28年度計画(案)

1 中山間ふるさと・水と土保全対策事業

事業区分	事業名	予算額(案)
		(円)
(1)調査研究 事業費		3,108,000
	中山間むらづくり調査事業	3,108,000
(2)研修事業		770,000
	ふるさと水と土指導員全国研修派遣	335,000
	ふるさと水と土指導員県内研修	435,000
(3)推進事業		10,640,000
	ふるさと水と土保全対策懇話会	137,000
	ふるさと水と土指導員活動支援事業	800,000
	農林漁業体験推進事業	773,000
	未来ある農山村育成支援事業	1,500,000
	鳥獣被害予防対策等推進事業	7,000,000
	啓発推進事業	430,000
合 計		14,518,000

2 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

事業区分	事業名	予算額(案)
		(円)
(1)保全ネット ワーク推進事業		3,215,000
	「とくしまの棚田」情報発信事業	677,000
	とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業	2,538,000
(2)保全活動 推進事業		2,200,000
	ふるさと水と土指導員活動支援事業	700,000
	未来ある農山村育成支援事業	1,500,000
合 計		5,415,000